第29話

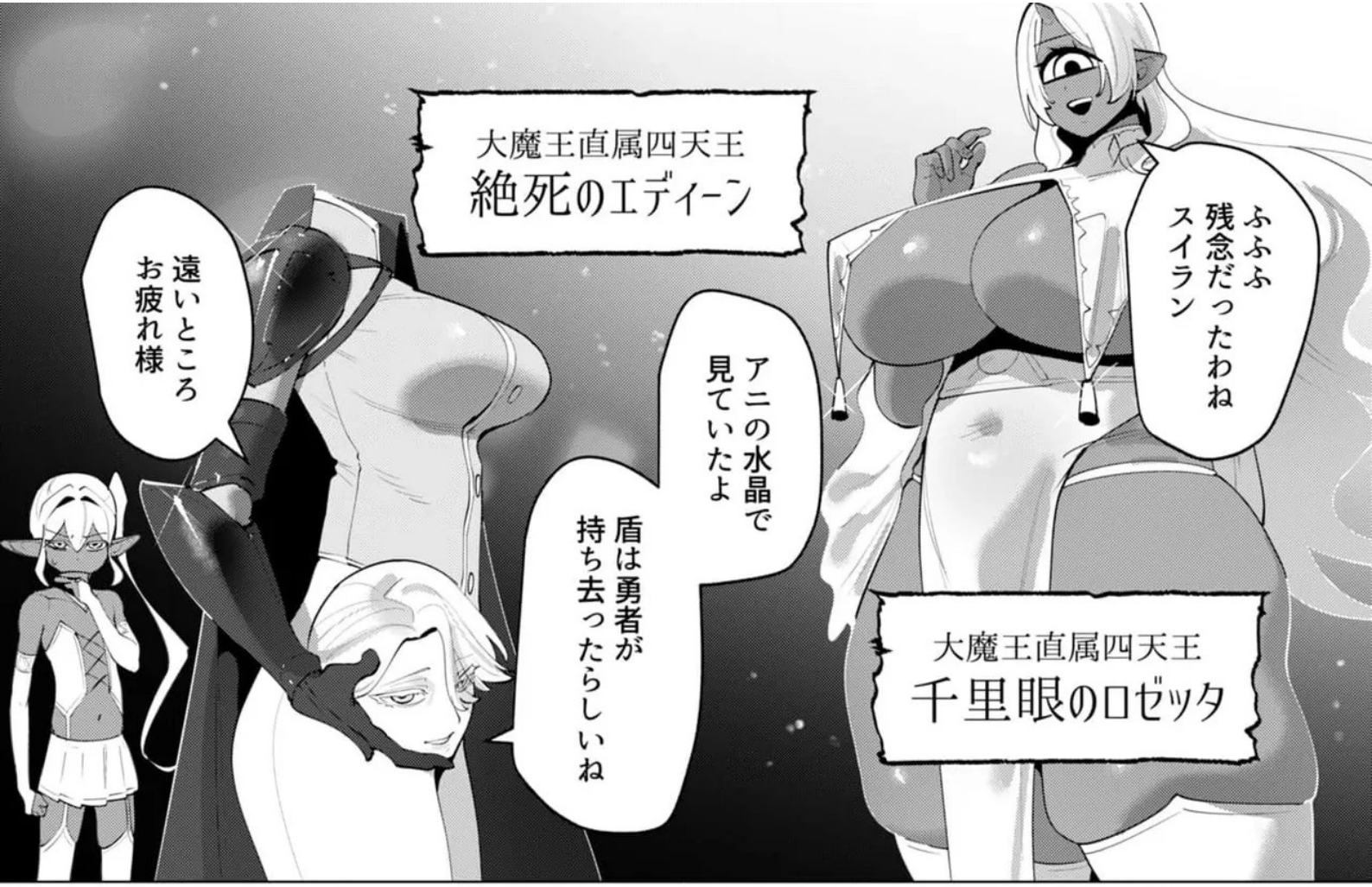
勇者さまは報酬に人妻をご希望です

遠山ブリン

あ～あ
無駄足じゃったか
大魔王直属四天王
竜牙のスイラン

まあよい
代わりに
面白いものが
手に入ったしのう…

ただいま
戻ったぞ～

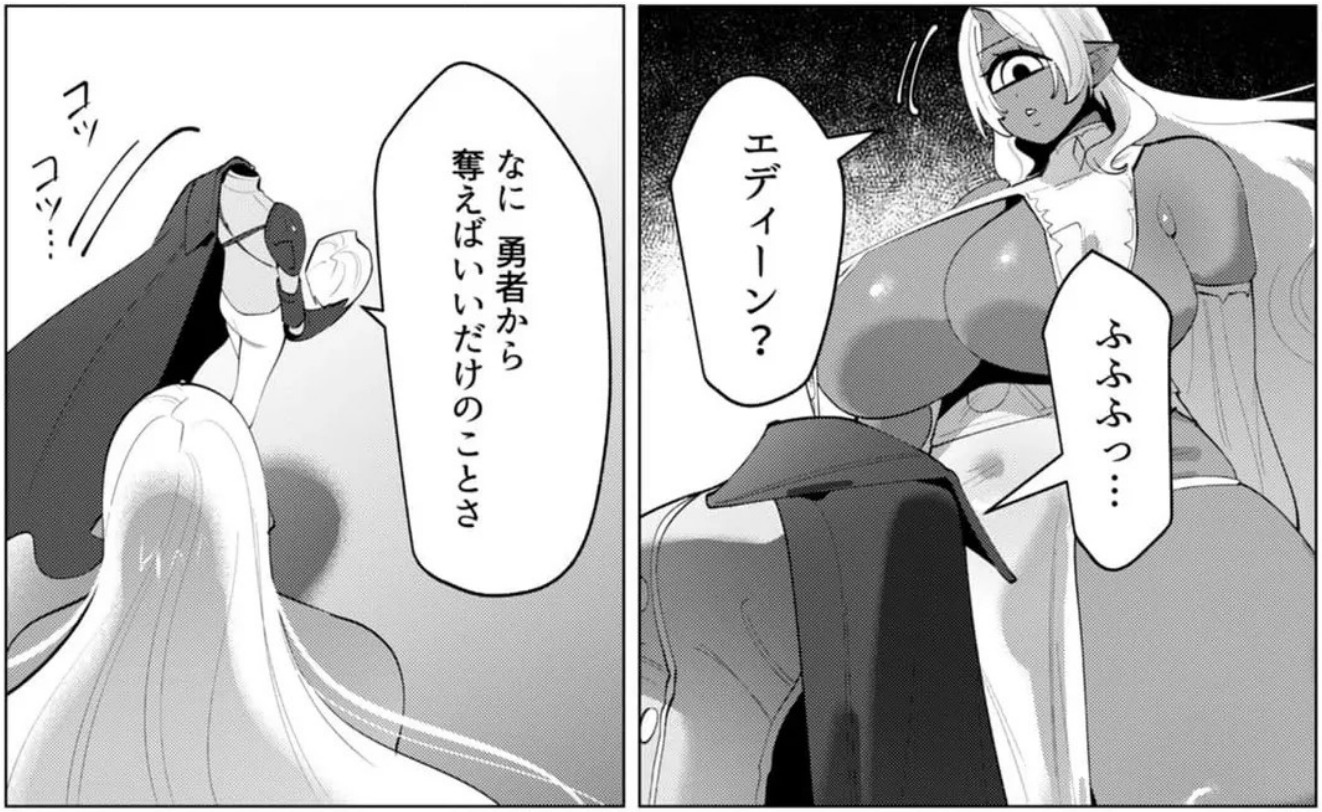

大魔王直属四天王
絶死のエディーン
ふふふ
残念だったわね
スイラン
アニの水晶で
見ていたよ
盾は勇者が
持ち去ったらしいね
遠いところ
お疲れ様
大魔王直属四天王
千里眼のロゼッタ

もっと高齢者を
労わらんか!!
なんだ
全然疲れてないね
あの軍事国家を
一晩で壊滅っ…!?
四天王(こいつら)やっぱり
とんでもないわっ…!

ところで君…
おもちゃでも
拾ってきたのかい?
ニカ～ッ!!
おおっ!!
よくぞ聞いてくれた!!

サドラム王国から
連れてきたのじゃ!!
良い声で鳴くので
儂のペットに
してみたのじゃぞ!
ビクッ
んん〜っ
サドラム王国 国王
ジーク・サドラム
ほれほれっ!!
ビクビクッ
んんん〜〜っ!!

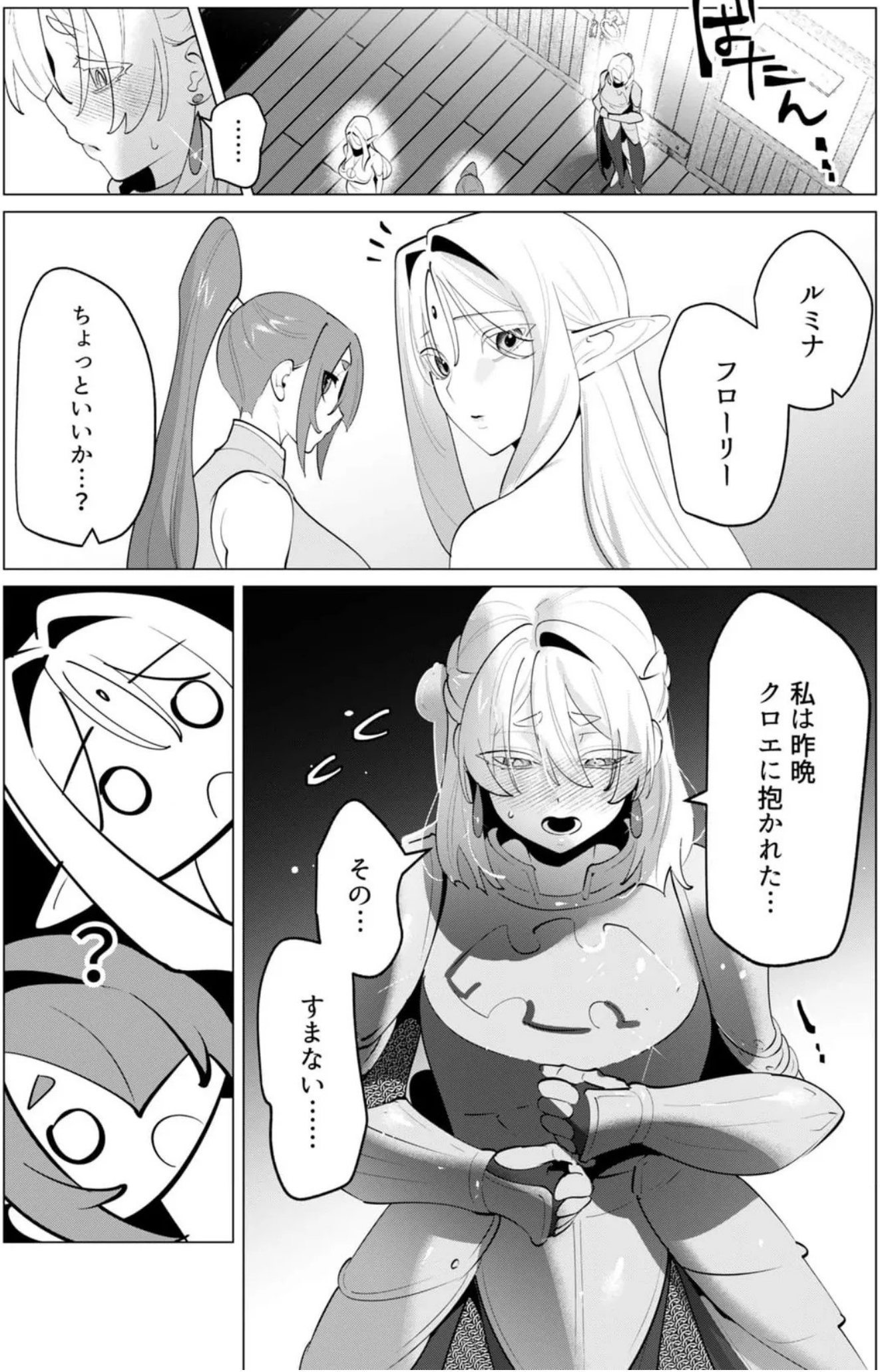
ほれっ！
もっと鳴けっ!!
ぐちゅっ
ぐちゅっ♥
んんっ
ビクッ
ビクッ
……
ぬぷっ…
こらこら
体勢を崩すでないぞ
ぱしんっ
どりゅっ♥
どちゅんっ♥
ドサッ
ビクンッ…
んんっ
不甲斐ない奴め
はぁ…
だから盾を勇者なんぞに
奪われるのじゃぞ!!
ふっ…


ふふふっ…
エディーン？
なに 勇者から
奪えばいいだけのことさ
コッ
コッ…

今度は僕が行こう

どういうことだ…

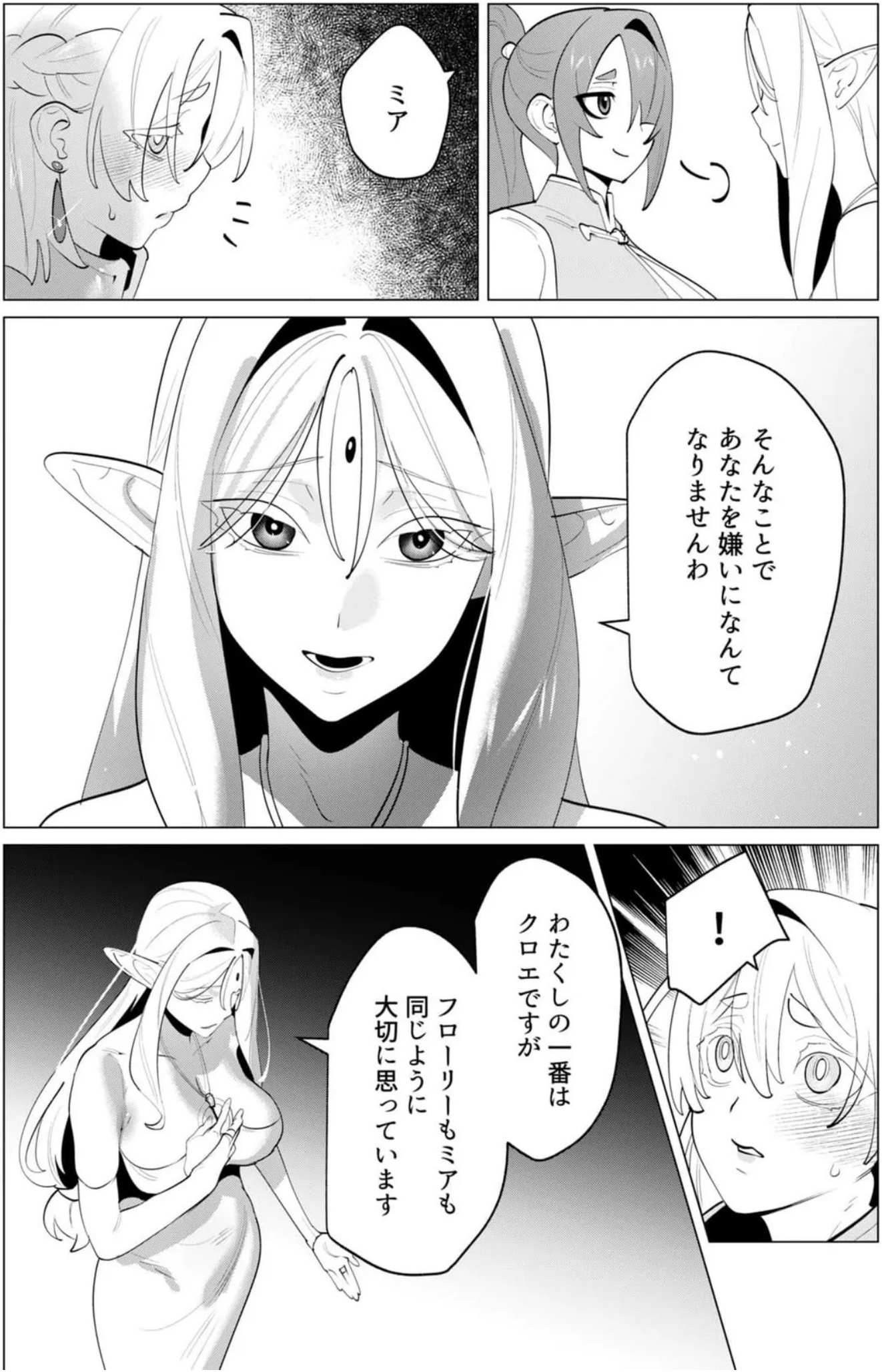
少し様子を見てくる
すぐに戻るから
あんたらは宿にいろ
わかった
気を付けてね


ばたん…
……
ルミナ
フローリー
ちょっといいか…？
私は昨晩
クロエに抱かれた…
その…
すまない……
？

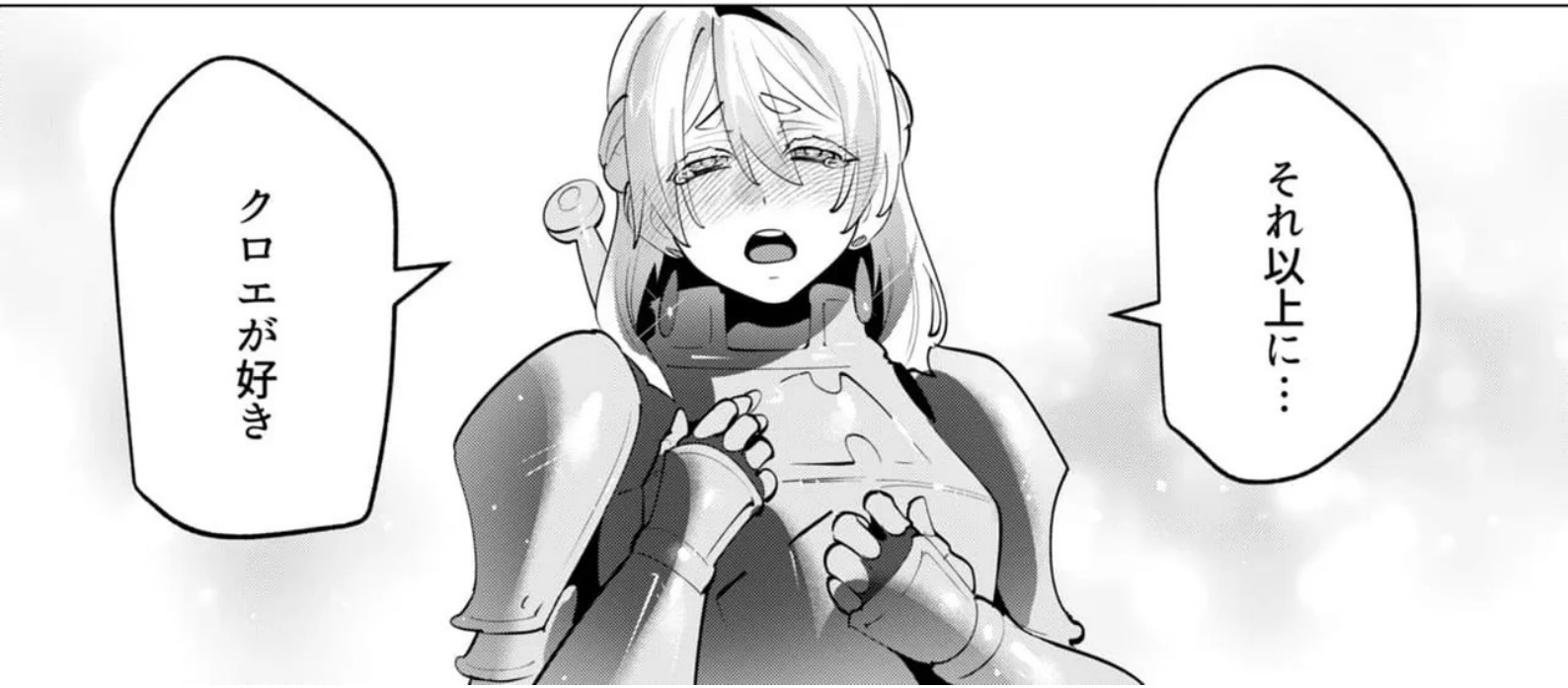
それでなぜ謝るのですか…？
そうだよ
どうしたんだい？
えっ？
だって普通…その
行為は好きな人とするものだ

二人はクロエのことが好きなのだろう？
なのに 私がクロエとしてしまったから…
私が嫌じゃないか…？

ぽかん…


ミア
ニヘ
そんなことで
あなたを嫌いになんて
なりませんわ
！
わたくしの一番は
クロエですが
フローリーもミアも
同じように
大切に思っています

私も同じだよ
みんな大切だ
ミアは…
私達が…嫌かい？
嫌じゃない！
あなた達のことは好きだ！
…だけど


それ以上に…
クロエが好き

私達でクロエを分け合うなんて…
そんなことできるのか分からないよ…

ガタンッ
おい！
サドラム王国が
魔王軍に滅ぼされた！
俺達も急いでここから…
クロエ!!
今はそれどころでは
ありませんわ!!
ピクッ
何だとっ…？

今すぐ4Pを
しましょう!!
!?
えっ
なに…?
たしかに
そっちの方が
重要だな
!?

ちょっ
ガシッ
ちょっとまってくれっ……！
まあまあ♥
確かめるにはこれが一番さ
ぎゅむっ♥
ドンッ!!

いきなりこんなっ…
ドキンッ
ドキッ
急すぎるっ!!
ほらミア♥
ミミ♥
え…？
可愛い胸をクロエによく見せるのですわ♥
ビクッ
!?
だっだめっ!!
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ

ぐぃ～っ♥
見ないでっ…
だめだっ……！
ぷくっ♥
ビクッ♥
隠しておくのが
もったいないね…
ふにふに♥
はぁ
くっ♥
カプっ♥
ビクンッ♥
じゅるるっ♥
ビクッ
ビクビクッ
あぁあっ!!♥

はっ♥
あら♥
わたくしも…♥
はぷっ♥
ぱくっ♥
じゅるるるっっ♥
ちゅ～っ♥
じゅるっ♥
ちゅぷ♥
ぐぽぐぽっ♥
ガクンッ
くりくりっ♥
ちゅっ♥
じゅるっ♥
ちゅ～っ♥
ちゅるちゅるっ♥
それだめっ…♥
吸っちゃだめっ…♥
ビクビクッ♥

ビクッ
!!
やっぱり
ぐちょぐちょじゃ
ねぇか
ミアの胸舐めて
感じてたのか？
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
んんっ♥
ビクビク
んっ♥
ビクンッ
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
あぁっ♥
もっ♥
だめっ♥
キちゃうっ♥

ビクッ
ビクビクッ
っ♥
じゅるるっ♥
ぬちゅっ♥
ぐちゅぐちゅっ♥

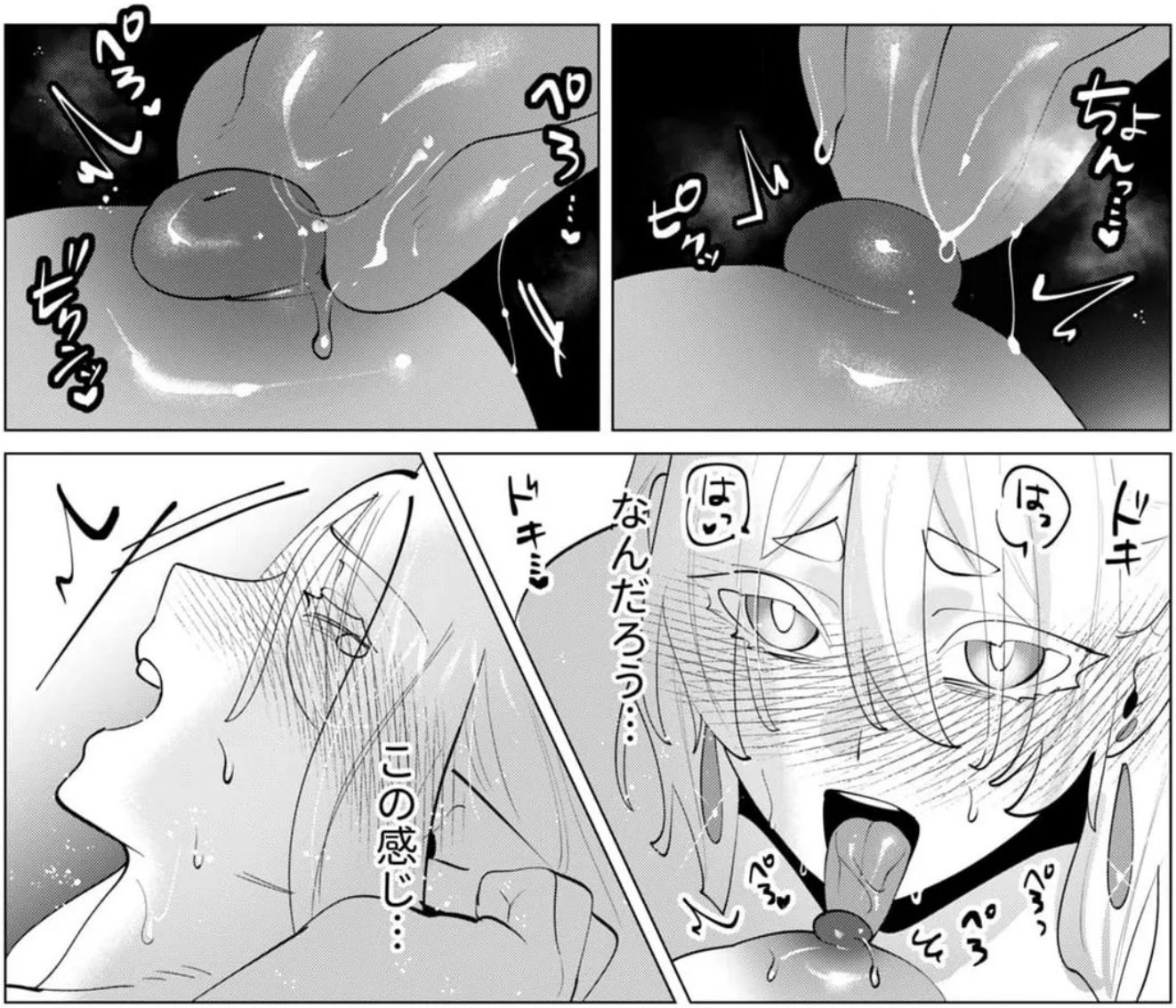
イったみたいですわね…♥
ではミア…

今度はわたくしを
見ていてくださいね♥
はーっ♥
はぁ♥
ねえクロエっ♥
クロエのおちんぽください♥♥
言われずともっ…
ぱあ…♥
ひくひくっ
とろ…
くれてやるよっ！
ずにゅっ…♥
はあっ…♥♥
これっ♥
ずっと待って
ましたわっ…♥
ビクッ♥
ビクッ♥
みちっ♥

奴隷だったわたくしを
助けてくれたクロエと
こうなることができて
幸せですっ♥
そんな幸せをみんなで
分け合えたら
もっと幸せですわ♥
ドキン…
あっ♥
ぬちっ
ぬちっ
どちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ

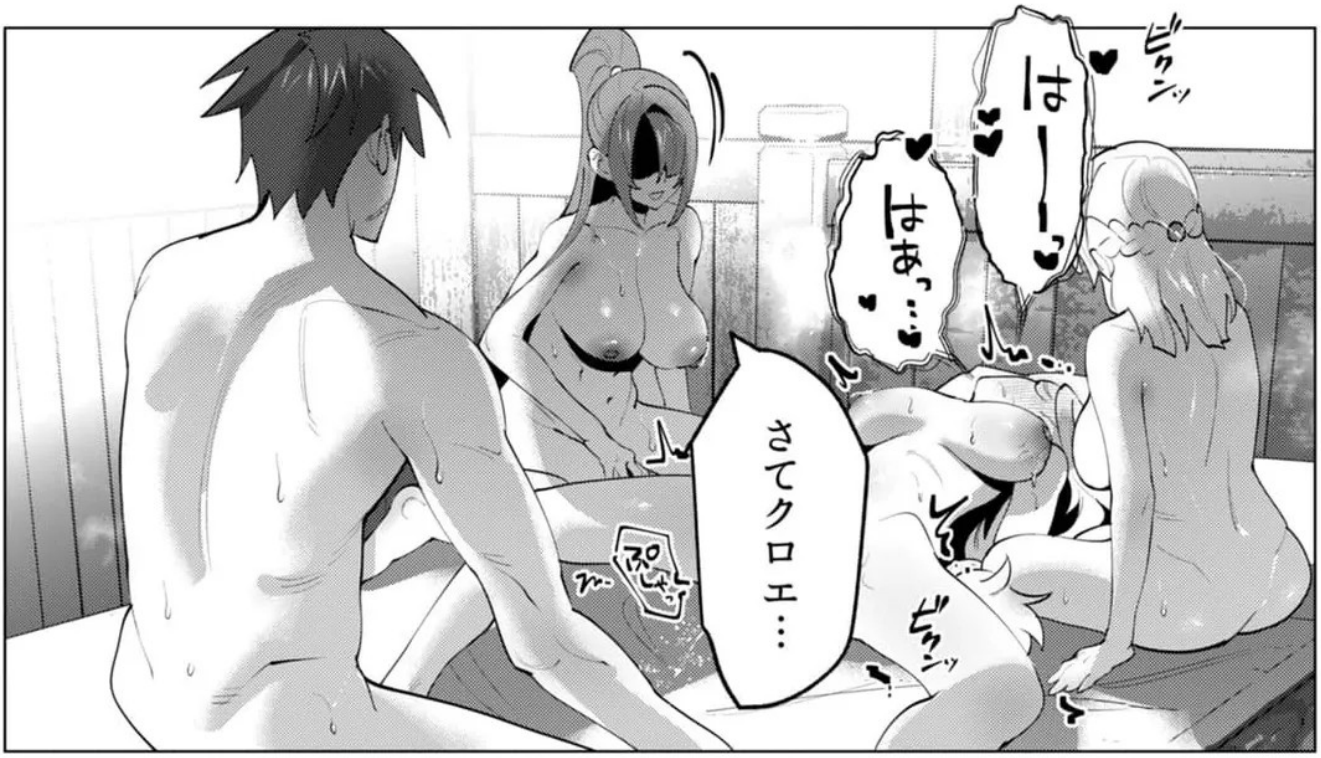
ミア
ルミナの胸を
舐めてごらん
えっ…ああ

そ〜…
はぷっ♥
はっ♥
れろっ
おっ♥
ぢゅっ


ちょんっ♥
ピクッ
ぺろ…
ぺろ…
ビクンッ
ドキ
はっ
はっ
なんだろう…
ドキッ♥
ぺろっ
ぺろっ
ぺろっ
この感じ…

ふわふわするような…
あ～っ♥
きもちっ♥
ビクンッ♥
ちゅぱ
ちゅ
ばちゅ
ばちゅん
どちゅ
どちゅ
どちゅ
どちゅ
どちゅ
どちゅ
そこ
すき♥
んぁ♥
たんたん
たんたん
たんっ♥

ばちゅ
ばちゅん
どちゅ
イっちゃう
イくイくっ
おっ
ぷしゃ
しゃ〜
おぉ〜
んおっ
ビクン


ビクンッ
はーー♥
はあっ…♥
さてクロエ…
ビクンッ

まだまだイケるよね…？
れろぉ…♥

ばちゅっ♥
どちゅっ♥
どちゅっ♥
ふっ♥
れろれろっ♥
ねちゅ♥
あっ♥
とんとん♥
そんそん♥
どちゅっ♥

ぬちゅ
れろ
ぺろ
ん♥
んんっ♥
んっ♥
ぬにっ
ぬにっ♥
たんっ
たんっ♥
ぬちゅっ
ばちゅん
どちゅ
ん～～っ♥
ぬちゅ
れろれろっ♥
ばちゅ
ばちゅん♥
ばちゅ
カリカリ♥
ビクッ♥
ビクビクッ～♥
ビクッ♥
ビクビクッ♥

クロエは
私が前に進む勇気を
くれたんだっ…♥
だから
今は色んな事が
新鮮で楽しいよ…っ♥
ミアとも一緒に
楽しめたら嬉しいなっ…♥
はっ
ぬっ
ずぷっ
じゅぶっ
ちゅぱ
……
あっ…
ぷとっ
くぱ
ミア…？
……っ
こうすると
気持ちよいのだろう…？
ぷに

あっ…♥
ビクンッ♥
くりくり♥
くりっ
くりっ♥
ニッ
ビクッ
!!
まっ…
カリ
シイッ

どくんっ♡
ビクッビクッ♡
ビクンッ♡
ぎゅっ♡
くりくりっ♡
きゅんっ♡
どぴゅっ
ぴゅるるっ♡
ぴゅっ♡
ぴゅ♡

ドサッ
はふっ…♥
はーっ…♥
やっぱり…
ドキン。
私…ヘンだ…
ドキ。
はぁ♥
ふー♥
はー♥
ドキ…
クロエっ…

ドキドキ♥
わたしもっ…♥
はっはっ
はふっ♥
ふーっ
ふーっ
ね…っ♥
クロエッ…♥♥
くぱぁ…♥
ひくひく♥
きゅん♥
ほかほか…♥

私まで
おかしくなった
みたいだ…♥
ふーっ♥
ふーっ♥

!!
ビクンッ♥
ぷぷ…♥
すにゃーー…っ♥♥
あーー…♥
ビクッ♥
…ふっ
全部挿ったぞ…
ビクッ♥
きゅうっ♥
ずっぽり…♥

すごいっ…♥
お尻の穴ってこんなに…♥
ドキ♥
二人に見られてるのにっ…♥
ゾクゾク…♥
ウズ
ウズ
わたくしもクロエと…♥

ゾクッ…♥
動いてクロエっ…♥
ドキ♥
ドキ♥
恥ずかしいのにっ…♥

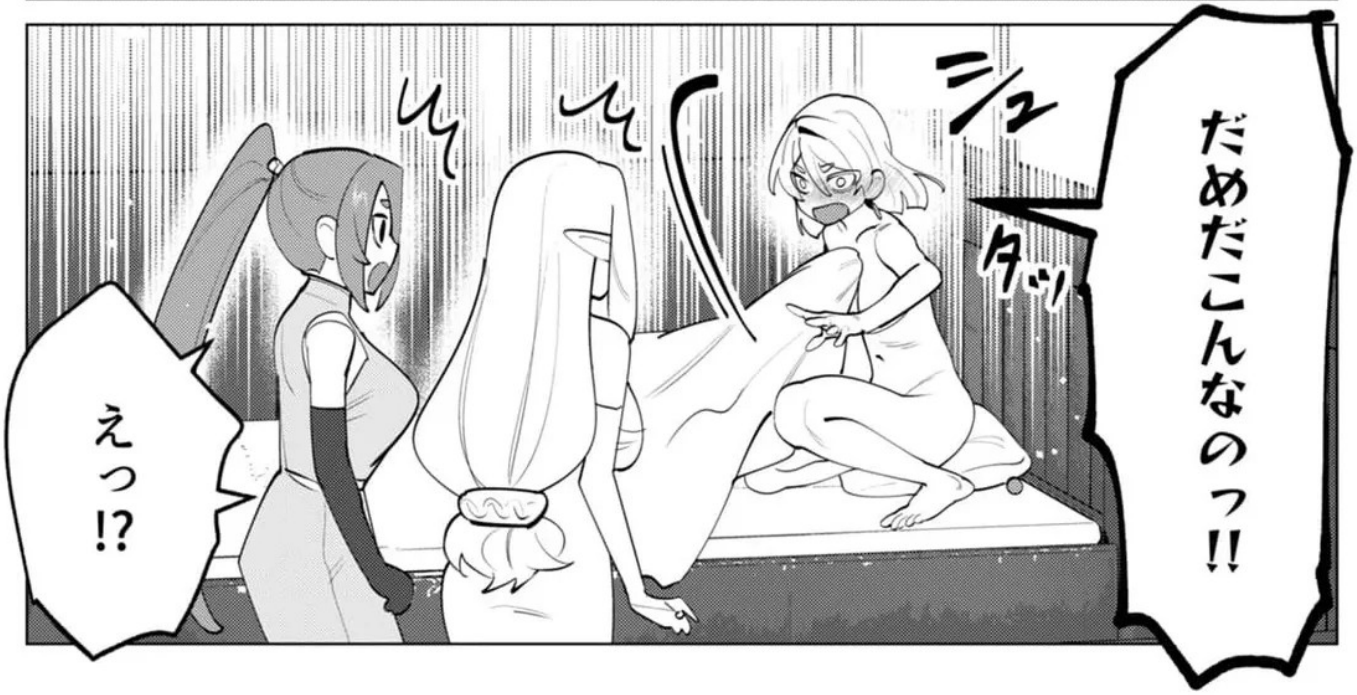
どちゅ♥
ぬぷ
どちゅ♥
ぬぷ♥
とちゅんっ♥
ばちゅんっ♥
ぬちゅっ♥
ぬちゅっ♥
とちゅ♥
とちゅ♥
あっ♥
んあぁっ♥
きもちいっ♥
きもちいいよっ♥♥
ゼクンッ♥
ふあっ♥

こんな快感っ
耐えられないっ…♥♥
ビクンッ♥
ビクビク♥
ぎゅっ

ハッ
あらミア
起きたのですね
あ……
身体は
大丈夫かい？
それでミア…

私達でクロエを…
分け合えそうですか？

～～っ
～だっ


だめだこんなのっ!!
シュ
タッ
えっ!?

良すぎて
おかしくなってしまうっ!!
ええっ!?

二人が気持ちよさそうにしてると
私まで気持ちよくなってしまうじゃないか!!
どうしてくれるんだっ…!!
ミミア…

それじゃ
さっきの続きでもするか？
ニヤリ
なっ…
ばちゅっ
ばちゅっ
どちゅっ
ぬるぬるぬるっ
とちゅっ
とちゅっ
とちゅっ
たんっ
たんっ
たんっ
あぁっ～♡